

## 青色防風ネットを用いた極早生ウンシュウミカンの日焼け被害を低減する対策

利用対象：極早生ウンシュウミカンの生産者、指導者

近年の気温上昇に伴い、カンキツ果実の日焼け発生が問題となっており、特に極早生ウンシュウミカンで多く発生します。対策として炭酸カルシウム水和剤の濃厚散布が実施されていますが、白斑による果実の汚れ、降雨による効果の低下などの問題があります。

そこで、これらの問題を解決するため、青色防風ネットを用いた、取り組みやすく効果の高い新たな対策技術を開発しました。

### <ポイント>

- 樹列上を青色防風ネット被覆し遮光することで、果実の日焼け被害を軽減できます（表1）。
- 目合いは、4mm目より2mm目の方が日焼け被害を軽減する効果は高いですが、青色であれば4mm目合いでも実用的な効果は得られます（表2）。
- 4mm目合いの防風ネット（幅2m）を2名で10a被覆する場合、固定具の作成などの準備を含めた初年度の設置時間は約3時間10分、2年目以降は約1時間20分です。
- 青色4mm目、幅2mの青色防風ネットの場合、10aあたりの資材費は約4万円です。



0：被害なし 1：果皮の黄化のみ 2：変形や硬化あり 3：褐変あり

日焼け被害の程度

表1 日焼け対策の違いが極早生ウンシュウミカンの日焼け発生に及ぼす影響

対策	被害度	被害果率 (%)
防風ネット青色4mm目	3.9	11.7
炭酸カルシウム水和剤25倍散布	5.8	27.1
炭酸カルシウム水和剤50倍散布	8.8	35.8
対策なし	11.1	32.1

- 1) 被害の程度は次の4段階に分類した0：日焼けなし 1：果皮が黄変  
2：果形の変形あり 3：果皮に褐変あり
- 2) 被害度 =  $100 \times (\sum (\text{被害の程度} \times \text{程度別果数})) / (3 \times \text{調査果数})$
- 3) 被害度、被害果率は2022年、2023年の平均値



青色防風ネットを設置した様子

表2 防風ネットの目合いが日焼けの発生に及ぼす影響

ネットの目合い	被害度	被害果率 (%)
2mm目	3.6	10.7
4mm目	5.9	15.9

お問い合わせ先	紀南果樹研究室紀南果樹研究課 中央農業改良普及センター 専門技術室	電話 05979-2-0008 電話 0598-42-6707
参考になる資料	三重県農業研究所 成果情報一覧 詳細版 <a href="https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm">https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm</a>	